

保護者や地域が自ら考える 子供たちにとってのより良い学びの場

鹿児島県志布志市教育委員会
教育長 福田裕生

R6.8.8 学校魅力化フォーラム（文部科学省）

鹿児島県志布志市の概要

志 布志市は、鹿児島県の東部、宮崎県との県境に位置し、緑豊かな山々、清らかな川、そして美しい海岸線（日南海岸国定公園に指定）が自慢のまちです。

志布志港は九州唯一の国際バルク戦略港湾としての整備が進み、東九州自動車道や都城志布志道路の開通により、さらなる発展が期待されます。

志 布志市のもう一つの魅力は、美味しい食べ物が豊富に揃っていることです。地元で栽培される野菜や果物、漁師が水揚げする新鮮な海の幸など、地元の食材を活かした料理を楽しめます。また、地元ならではの楽しいお祭りなど、イベントも盛んに行われています。

美味しい食べ物や地域の文化を通じて人々との交流を深め、自然と笑顔になる❖
それがこの志布志市です。

人口／ 28,886人
男性 13,839人
女性 15,047人

世帯数／ 15,097世帯

※2024年3月31日現在



小学校の推移

H18.1

- 3町合併時 小学校18校 中学校7校 合計25校

H21.3

- 四浦小学校休校

H23.3

- 八野小学校廃校（公民館・PTAからの陳情）

H26.3

- 田之浦中学校・出水中学校廃校（学校再編計画に基づく統合編入）

H27.3

- 休校中の四浦小学校廃校（新入学児童見込みなし）

R6.4

- 小学校16校（小規模特認校3校含む。） 中学校5校 合計21校

志布志市 Shibushi City



松山地区

松山中学校	106人
松山小学校	64人
泰野小学校	46人
尾野見小学校	65人

<令和6年4月現在>

<令和6年10月以降>
学校の在り方検討委員会設置
↓
今後の学校の在り方について協議を推進

志布志地区

志布志中学校	404人
志布志小学校	266人
香月小学校	231人
安楽小学校	252人
特 潤ヶ野小学校	29人
特 田之浦小学校	24人
特 森山小学校	15人

H26.3廃校

田之浦中学校
田之浦小学校
森山小学校
四浦小学校 (廃校)

H26.3廃校

出水中学校
潤ヶ野小学校
八野小学校 (廃校)

有明地区

伊崎田中学校	43人
伊崎田小学校	64人

有明中学校	128人
有明小学校	150人
通山小学校	126人

宇都中学校	134人
原田小学校	45人
蓬原小学校	76人
野神小学校	109人
山重小学校	50人

<令和8年4月>
施設一体型小中一貫校
「伊崎田学園」

<令和10年4月>
県立特別支援学校 開校

同敷地内でインクルーシブ教育の推進

将来的な児童生徒数の減少（令和4年4月）

「より良い学びの場の在り方」の検討を始めた時期

令和4年4月1日現在 学年平均の児童数 約290人

令和2年度出生数 178人

令和3年度出生数 180人

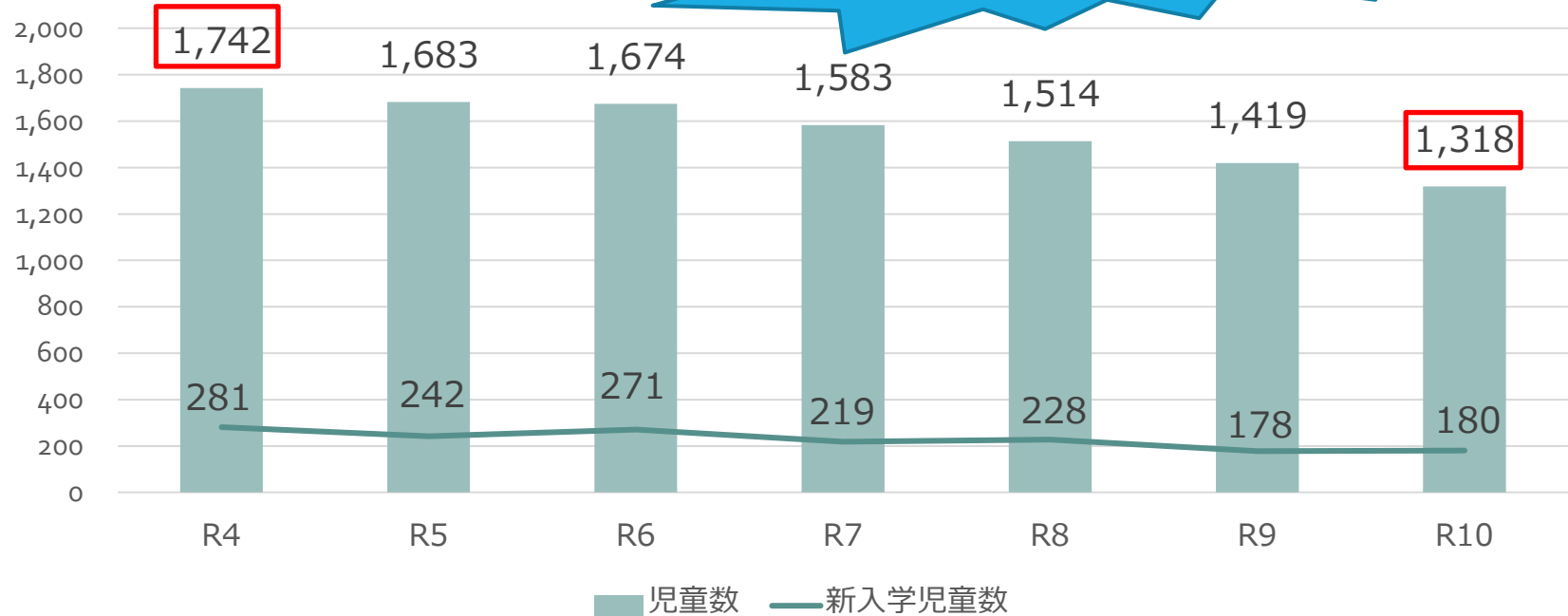
令和4年の学年平均の児童数と比較し、2年連続で100人以上減少

今後6年間で急激に小学校の児童数の減少が見込まれる。

今後の児童数の推移

この事実を市民と共有する！

6年後
市全体で児童数が424人、
24.3%減少



アカウントビリティ（説明責任）を果たした上で、 共に考える



重要

急激な児童数の減少が見込まれ、学校の在り方を検討すべき時期にある。

児童数の減少に伴う学校の在り方については、保護者や地域の意見を基に、進めていく必要がある。

適切な情報提供を行うことにより、どれだけ保護者や地域にこの現状が伝わり、考えていただけるか。

まずは、この急激な児童数の減少を当事者である小学校の保護者に説明し、「自分事」として考えてもらう必要がある（全16校、R4.6～8）。【1回目の説明】

なぜ保護者から？・・・地域を優先すると感情的な方向に流されてしまうおそれがあることから、まずは、当事者である保護者の意見集約を先に行う。

保護者等の反応と更なる周知

保護者の意見・・・児童数の減少を数値で見ると現実味が増した、少子化対策が急務では、学校の在り方を考える時期にきている など

松山地区は、松山中学校区の3つの小学校の保護者と地域が協働して、自主的な検討委員会の立上げ

今後の児童数の推移について、更なる周知が必要・・・地域住民、議会など

地域おこし協力隊の協力を得て、今後の学校の在り方に関する動画を作成し、YouTubeにアップロード → **見える化**

児童及び未就学児童の保護者に視聴していただいた上で、学校の在り方を検討する際の参考にするため、WEBアンケートを実施

みんなで考えよう人口減少 私たちの学校は？



WEBアンケートの概要

問 今後、学校の在り方について検討が必要だと思いますか。

児童の保護者

81.7%

未就学児の保護者

79.1%

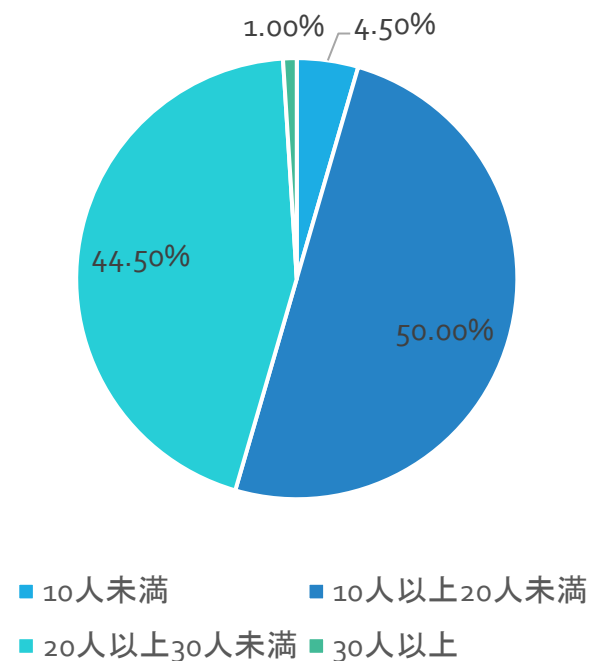
	回答者数	構成比		回答者数	構成比
すぐに必要	161	22.9%	すぐに必要	57	20.1%
将来的には必要	414	58.8%	将来的には必要	167	59.0%
必要ない	36	5.1%	必要ない	15	5.3%
分からない	93	13.2%	分からない	44	15.5%
計	704	100%	計	283	100%

今後、学校の在り方についての検討が、「すぐに必要」、「将来的には必要」との回答が**児童の保護者81.7%、未就学児の保護者79.1%、合計で80.95%の保護者**が教育環境について検討が必要と感じています。

問 1クラス当たりの児童数は、何人ぐらいが良いと思いますか。

	回答数	構成比
10人未満	32	4.5%
10人以上20人未満	352	50.0%
20人以上30人未満	313	44.5%
30人以上	7	1.0%
計	704	100%

1クラス当たりの児童数は、保護者の50%が「10人以上20人未満」を、44.5%が「20人以上30人未満」を望んでいます。



保護者や地域が自ら考える子供たちにとっての より良い学び場（令和5年度）

令和4年度出生数 162人

3年連続で100人以上減少（令和4年4月現在の児童数 学年平均約290人）

今後の児童数の推移をアップデートし、WEBアンケート結果とともに公表

全16校の小学校の学校運営協議会において、今後の児童数の推移とアンケート結果を説明（R5.6～9）【2回目の説明】

今後児童が減少する中で、保護者や地域の方々に「自分事」として捉えていただく

市と地域等の取組（有明地区伊崎田小中学校）

R3.11

- 県立特別支援学校の誘致に向けた本市の現状等について
県教育長へ説明

R4.3

- 県立特別支援学校の誘致について所信表明に明記

R4.11

- 県立特別支援学校の誘致に係る20,285人分の署名を県
教育長に提出

R5.7

- 伊崎田地区（1小1中）と松山地区（3小1中）から1校の敷地内に小中一貫校又は義務教育学校を整備統合し、空いた敷地に県立特別支援学校設置の要望書が提出

R6.2

- 鹿児島県議会定例会において、県知事が伊崎田地区（1小1中）の学校敷地内に新たな特別支援学校を設置することを表明

R6.5

- 県教委が本地区に新設する特別支援学校整備計画を発表

R6.6

- 総合教育会議、定例教育委員会での検討・協議を経て、現在の1小1中を小学校敷地内に整備統合し、施設一体型の小中一貫校「伊崎田学園」として整備する方針を決定（R8.4開校）

市と地域等の取組（松山地区小中学校）

R6.7

- 松山中学校区（3小学校）の今後の学校の在り方について、地域コミュニティ協議会から市長・教育長に支援の要請

R6.9

- 要請を受け、当該地域の方々や保護者などを構成委員とする（仮称）松山地域の学校の在り方検討委員会の設置に向けて、報償費（委員謝金）の補正予算をR6.9定例会に提案（見込み）

可決後

- （仮称）松山地域の学校の在り方検討委員会を設置し、保護者や地域の方々と共に、学校の在り方について協議を推進

今後の方針

本年度（R7.3見込み）策定する「第2次志布志市教育振興基本計画後期基本計画（R7～R11）」において、市全体の今後の学校の在り方に関する方針を定める。



児童数の減少を保護者と地域が自分事として捉えていただき、引き続き、主体的な学校の在り方の協議を支援することにより、将来の創り手となる子供たちにとってより良い学びの場を一緒になって考えていく。